

たかやま

実りの秋 頭・身体・心

不安定な天候が続き、一気に冬に近づいた感じです。農作業も一段落し、収穫の喜びを感じる季節になりました。高山つ子は思う存分に、頭も体も心も動かして、一人一人の頭・体・心を実実に実らせております。コロナ禍の中、感染予防の取組も徹底しながら学習発表会の準備を着々と行っております。地域の方も足を運んでいただき、高山つ子の応援をよろしく願っています。

さて、学校林「みどりの道」について、先日、全校朝礼で、整備された経緯やこれまで維持管理してこられた方々のお話を高山つ子にしました。最後に、これから、「みどりの道」をどうしていきたいですか？と問うと、**維持していきたい、竹を切って緑を増やしたい、大切にしたい、伝統を守りたい等**の意見が出ました。素晴らしい！と思いました。今後、保護者様、地域の方々にお世話になりながら、緑化推進委員会等の事業を受けながら、学校林を維持管理していきたいと思えます。また、植物に付けるプレートが傷んでおりましたところ、芝尾PTA会長が作成して下さいました。高山つ子と一緒に観察しながら植物に付けていきたいと思えます。



令和3年度 第7号

発行日：R3.11.16

発行元：高山小学校

文責：校長 山中容子

たかやま大すき 高山つ子

みーもスクール（中学年）

十月十八日、中学年は、海岸清掃でおじゃました鳥井小学校の中学年を招待し、もりふれクラブの先生方を講師に「竹の被害や有効利用」について学び、その後、竹を使った米粉ケーキ作りをしました。そして、昼食後、一緒に、みどりの道で観察したり遊んだりしました。今年は、海辺の学校との交流学习を通して、友好を深めるとともに、環境学習を進めてきました。お互いに、違う環境で生活していますが、双方の良さを知り、知見を広げる機会になったと思います。



たかやま^{まい}を味わう会（高学年）

十一月十日、高学年は、お世話になった、戸嶋さん、廣山さん、三室さんをお迎えし、「たかやまい（米）を味わう会」を行いました。



た。今年は、うるち米を育てましたので、新米のおにぎりやグルーブで具を工夫したみそ汁というメニューでした。一人一人、田んぼでの作業を振り返ったり感謝の気持ちを述べたりしました。お米は毎日食べます。これからもこの経験を生かして、家庭での農作業のお手伝いや、お米を大切にする事ができると思います。ご協力いただいた地域の皆様、ありがとうございました。



みーもスクール（高学年）



十一月十五日、もりふれクラブの皆さんをお招きし、間伐体験と間伐材を使った和紙作りをし、最後に、森林についてのお話を聞きました。健全な森づくりについて知識だけでなく、間伐という体験をすることはとても意義あることです。メキメキと音を立てながら木を倒すと一気に空が広がり、日光が差し込みます。それを体験できると高山つ子は幸せですね。和紙作りでは、材料は全て自然由来です。ヒノキの甘皮を三時間煮詰めたものを柔らかく砕き、小さく切

っておき、タブノキの葉をミキサーにかけトトロとしたネリというものを作りました。その二つをミキサーで混ぜ合わせました。その後、漉いて、アイロンで水気を飛ばし、乾燥させ、味のある和紙ができました。高山つ子たちは、興味津々、真剣なまなざしで活動しました。森の学習をすることで、環境問題や山と海の関係、里山の自然を維持管理することが、未来の地球環境を守ることにつながっていくことに広げてくれることと信じています。



安全に木を倒すためにロープを他の木に滑車を使って仕掛けをします。



間伐したヒノキは24.5mでした！

かしこくすすんで学ぶ 高山つ子

夢・未来プロジェクト（高学年）



十一月一日、ロケット開発をしてこられた植松努氏の講演が邇摩高校でありました。本校の高学年もオンライン参加しました。キャリア教育としての講演でしたが、植松先生のお話の中の一つ一つの言葉が、高山つ子に響き、必死でメモをとり、笑ったり頷いたりしながらお話を聞きました。事前のアンケートでは、「夢」とか「将来」とか、全くピンとこない様子でしたが、お話を聞いた後は、内容をしっかりと吸収し、自分自身を見つめ、感想をまとめました。

○私は植松さんのお話を聞いて夢のことについてわかった気がしました。学年が上がるにつれて、今の自分じゃ無理と思うようになりました。勉強もみんなについていけなくなったり、何とかみんなに合わせないといけないと思って自分の考えを消してまで人に合わせたりするようになりました。お話を聞いた後、自分は何でそんなことをしていたのか不思議に思いました。今の自分は失敗は悪いことじゃないんだという気持ちがあつて、自分の考えを変えたりせず、そのまま、思ったことをみんなに言えるような気がします。今まで、他のみんなと違うことをしていたら笑いながら自分の思ったこととは違うことを考えて苦しかったので、これからは自分の意見をたくさん言いたいです。



のりもの体験と中央図書館（低学年）

十月十五日、低学年は大森小のお友だちと一緒に、のりもの体験と中央図書館見学に出かけました。まず、路線バスに乗り、整理券を取ったりお金を払ったりして、スクールバスや貸し切りバスとは違う体験をしました。中央図書館では、読み聞かせや書庫の見学、実際に本を借りるなど様々な体験をしました。その後、宮崎公園で

お弁当を食べたり遊んだりしました。午後からは、大田市駅に移動し、JRの職員さんに丁寧に説明していただいたり質問したりしました。駅舎内の放送や切符の検印をさせてもらい、その後、JRの列車に乗りました。楽しい校外学習になりました。



やさしく思いやりのある高山つ子

大代・まちたんけん（低学年）

十月二十一日、低学年は、大代まちづくりセンターへ出かけ、大代えびすの会の皆さんと交流会をしました。はじめに、高山つ子から自己紹介と歌「ドレミの歌・高山小バージョン」を披露しました。そして、佐藤センター長に質問して大代まちセンのことを学ぶことができました。それから、利用者さんと一緒に、3B体操をしたり一人一人が利用者さんと会話を楽しんだりしました。



読書まつり（全校児童）

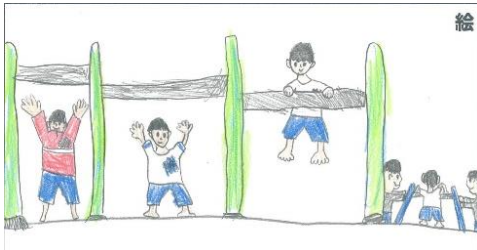
十一月十一日、図書委員会が「読書まつり」を企画・運営しました。活動は次の四つです。①本探し ②三択クイズ ③クロスワード ④昔話クイズ

高山つ子は、縦割り班に分かれて、ローテーションしてどの活動にも取り組みました。図書委員会が準備してくれた①から④の活動は、みんなが読書に親しんでくれるようにと工夫したとても楽しい活動でした。このように、児童の委員会活動も教職員と一緒に、学校経営に参加してくれています。



まいにち元気でたくましい高山つ子

オリパラ事業「体操教室」（全校児童）



オリンピアンの前田将良様をお迎えし、体操教室が開かれました。はじめに、前田さんのオリンピックになるまでの軌跡をクイズで紹介され、現役時代の映像も見ることができました。前田さんは京都出身ですが、現在は浜田市在住で、仕事をしながら体操教室もしておられます。体操競技は、美しさを求められるスポーツなんだと模範演技で示されると、「おー！」と歓声が湧きました。優しいお人柄で一人一人に声をかけて下さって、マット・跳び箱・鉄棒の三種目を指導していただきました。

○今日は、体育館で、前田先生に来てもらいました。オリンピックでは、ポーズでふらついたり少しミスをしたりするだけで減点れることが分かりました。特に楽しかったのは鉄棒です。かべを使ってだけど、逆上がりは何回もできたからです。前田先生のミニ体操教室で、楽しいこと、むずかしいこと、できるようになったことが、いっきに体験できて良かったです。

学校保健委員会（全校児童、保護者）

十月二十二日、学校保健会がありました。今年度は、カイロプラクターの石崎達彦様をお迎えし「姿勢の大切さ」と題して、身体の姿勢が健康にどう影響するのかということを学びました。校内で行ったアンケートについて三谷養護教諭から説明をし、その後、保健体育委員会が、姿勢についての寸劇をしました。友だちが演じている姿を見て、姿勢の大切さに気付いたようでした。その後、石崎先生から、骨格模型を使って、骨がゆがんだまま寝るとうまく血液等が循環できなくなる身体はどこかに不調が出ることを説明されました。また、興味深かったのは、子どもが寝返りをするのは、自らゆがみを直しているんだと言われたことです。寝相が悪くても、どうか怒らないでくださいね。最後に、チューブを使って、身体のゆがみを直す体操をしました。事前では、目をつぶっての片足立ちがフラフラしましたが、体操の後は、ピシッとバランスよく立つことができました。見た目だけでなく、姿勢の大切さを実感できました。

